

歴史資料展示室常設展示について小・中学校の教諭から聞き取った内容

【校外学習について】

- 校外学習にあてる時間が多いのは、①3年生の「昔の暮らし」と②6年生の「平和学習」
- 3年生の「昔の暮らし」
 - ・5～6月に芦屋市内の施設や芦屋川などを見て回る（1学期が市役所、2学期が芦屋川）
 - ・3学期に「昔の暮らし」を学習する → 一部の小学校が、美術博物館を見学する。
 - ・新学習指導要領の「昔の暮らし」では、昔の道具」よりも「まちのうつりかわり」についての学習がメインになっている。
- 6年生の「平和学習」
 - ・春～夏に戦時中の暮らしなどを歴史の授業の中で取り扱う（単元では太平洋戦争[平和学習]）。
 - ・6年生の歴史の授業では、市外の施設（博物館や遺跡）に見学に行くことが多い。
- 校外学習での展示の見学時間は長くて45分

【展示の工夫についての意見】

- 解説文をほとんど読まないのので、ビジュアルで見せるほうがよい
 - ・地図やイラストで遺跡や古墳・まちのうつりかわりを見せる
 - ・会下山遺跡などもイラストや想像復元図でイメージしやすくする
- ものに触れるようにした方がよい。
- ワークシートをスタンプラリーの方法を用いて、子どもをのめり込ませてはどうか。
- 自分の住んでいるところが理解できる展示をしてはどうか（地区別など）。
- 見るポイントを明確化してほしい
- 教科書の内容をイメージしやすいものがあるとよい

【その他】

- 6年生の歴史の授業
 - ・9月までに歴史の単元を終える（修学旅行との兼ね合い）
 - ・縄文時代・弥生時代・古墳時代に充てられる時間は少ない（1時間程度）ので、出前授業やオンライン授業があるとうれしい（美博に行きにくい山側の小学校の児童にとっても、夏休み等に自分たちで行くきっかけになる）。
 - ・山側の小学校の一部はゴールデンウィーク前後に市内の遺跡めぐりをしている
 - ・会下山遺跡は重要視している（社会科の副読本にも出てくる）
- 教職員には、考古、近現代、戦争のニーズが高い。
- 基本的には、いつ訪れても芦屋の歴史全体を見ることができる常設展示の方がありがたい。

以 上